

2004/1/22
国土交通省 PF 東京セミナー

PFIについて

鳥取大学教育地域科学部
光多長温

PFIのあり方

PFIとは『公共施設等の建設』『維持管理』『運営』『ファイナンス』等を民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して公共部門が直接行うより効率的かつ効果的に行うことが目的』。

このため

公共部門が行うコストと民間からサービスを購入するコストを明確かつ客観的に比較する。

公共部門と民間部門とが、公平性、透明性の原則の下、事業者選定を行い、その結果を契約に落とす。

この原点を見失わないことが肝要。

日本版PFIの形を常に問い改善していくことが必要。

イギリスは、PFIの対象を拡大し、かつ新たなスキームを創出。

PFIの対象

1.現在の対象事業は、「公共施等の建設、維持管理、運営」。

2.「公共施設等」の意味。

PFはあくまで、公共事業の一環。

実施方針でこれを明確にすることが必要。

地域にとって必要であることが要件。PFを行わなければ公共事業で行うべき事業。

3.施設の建設、維持管理、運営」の意味

日本の公共事業は「施設の整備」が対象。

PFの本質は、ライフサイクル（設計」「建設」「運営」「 finans」「維持管理」）を民間事業者に委ねること。

運営が伴わない施設の整備事業」はPFの本質とは相容れず。

延払い的PFは問題化する可能性あり（後年度負担問題）。

4.対象事業拡大の検討

運営面を重視する対象事業への拡大の検討。

行政サービスの民間開放との関係 PFからPPPへ

VFM (Value for Money)について

- 1 .PFIの基本はVFMの向上。
- 2 .わが国におけるVFMの計算はやや形式的面あり。
コンサルタント任せの例。
リスクの定量化、IRR(Internal Rate of Return)水準、現在価値換算率についての考え方の整理の要あり。
PSC (Public Sector Comparator)は行政コストと認識の要あり。
- 3 .統一指針検討の要あり。

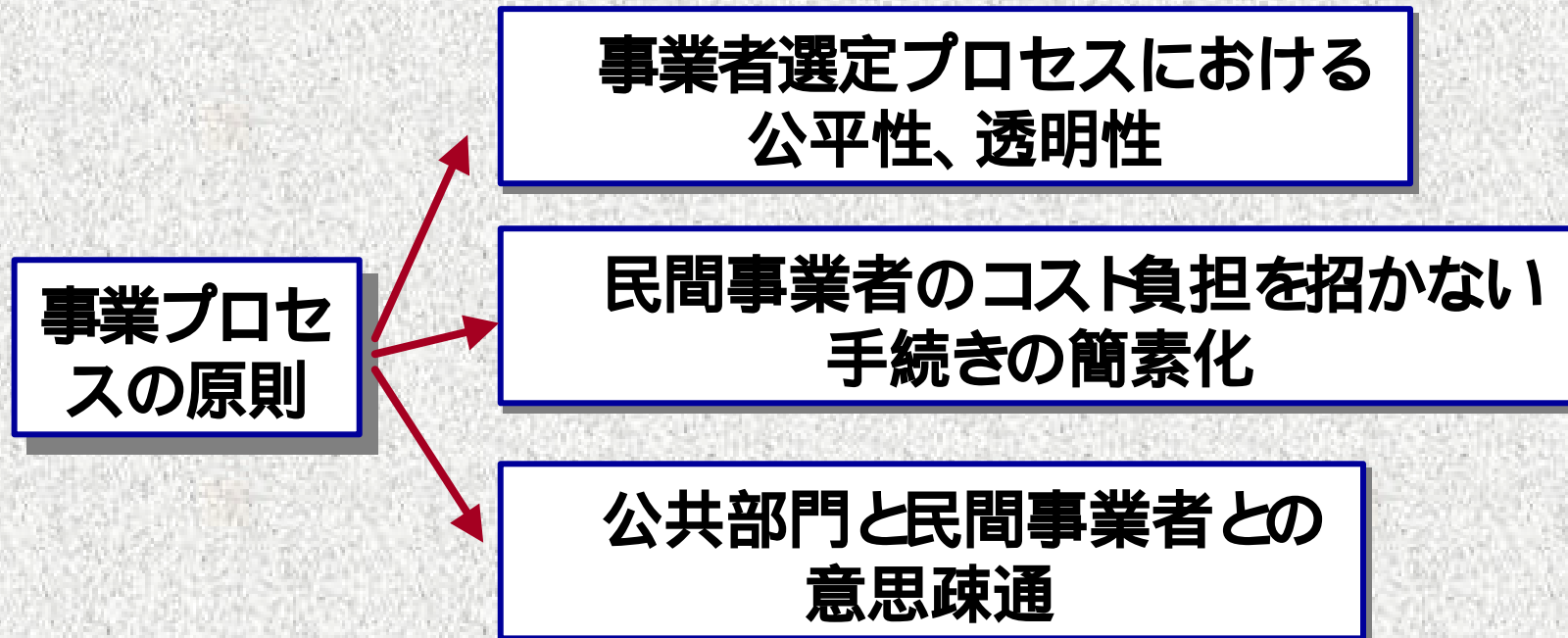
イギリスのVFM

一時、形骸化の批判で再検討。

03/4より全面改訂。

- (1)PSCの内容の見直し(楽観的バイアスの控除等)
- (2)税金のイコールフッティングのやり方の変更(公共部門への賦課)
- (3)現在価値換算率の引き下げ(6% 3.5%)等

PFI事業実施プロセス



イギリスのPFIの実施プロセス

サービス調達 事業者選定時における公共部門と民間事業者との対話が必要 競争的対話方式 (Competitive Dialogue)

EUとの議論 徐々に理解

手続きの簡素化

1. PFIは「一定の時間」と「一定のコスト」が必要との誤解。
「PFIは煩雑かつ却ってコスト高（特に小規模案件）の批判」
2. 更に、契約交渉で長期間を要している例もあり。
3. アドバイスフィー負担大。
4. 様式及び契約書の標準化、事業者選定プロセス合理化の要あり。

イギリスの手続き問題

1. 保守党政権時に「手続きの煩雑さ」と「コスト高」でPFIは一時下火。
2. 労働党政権下で、「様式及び契約書の標準化」により手続きの簡素化を図る（現在事業種目別、事業方式別に約50の標準契約書）。
3. 案件への経験及び4P'sやPUKの指導により、期間短縮が実現。

PFI事業実施プロセスの方向

民間事業者に負担をかけない
多段階方式の適用

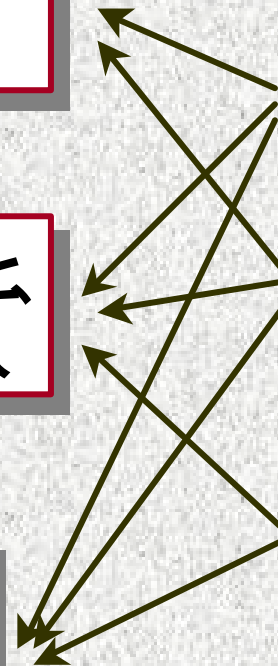
審査過程における公共サイドと
民間事業者との対話方式の導入

審査段階における諸条件の
詰め。

明確な選定
基準

公共サイドの
レベルアアップ

随意交渉の
排除



事業実施プロセスに関する議論

プロセスが煩雑

プロセスそのものは、イギリスに較べても簡素。
各プロセスで形式的、硬直的かつ煩瑣なことが多すぎる (例 : Q&A)。

情報公開不足

イギリスに較べても情報公開はむしろ進んでいる。
但し、契約書の公開は少ない。

応募費用がかかり過ぎる

イギリスの多段階審査は、概要審査 ショートリスト作成
Clarification Meeting BAFO 最優秀者の選定。
多段階審査には公共及びコンサルの一定のレベルが必要。

公募プロポーザルと総合評価一般競争入札

二者択一ではない。
弾力的・多段階総合評価一般競争入札の実施。
「公共と契約交渉を行う順番を審査する」?

価格要素が効き過ぎる

PFIは財政支出の 縮減が目的 価格要素が基本。
要求水準が明確であれば、価格要素が必然的に強くなる。
審査基準策定段階で価格要素と定性要素の評価基準を検討・公表。
加算方式と除算方式の議論?
イギリスでは、運営の比重が大きいものは価格要素が低い。

【参考】PFI事業実施プロセス

【日本の実施プロセス】

1. 事業の発案
2. 実施方針の策定・公表
3. 特定事業の選定・公表
4. 応募要綱の策定、公表
5. 民間事業者の応募
6. 審査
7. 民間事業者の選定
8. 協定等の締結等
9. 事業の実施・監視等
10. 事業の終了

【イギリスの実施プロセス】

1. 一般公告
2. 民間企業からの関心表明書提出
3. 資格審査並びに概要提案要求書
4. 資格審査書並びに概要提案書提出
5. 資格審査並びにショートリスト絞りこみ
6. 募集要項、要求水準書、契約書案等提示
7. 応札
8. 本審査 (評価並びに応札書類に係わる質疑応答・明確化)
9. 応募者絞り込み
10. 事業者最終提案 (B & FO Bids)
11. 事業者最終提案評価
12. 最優秀者選定
13. 契約条件の最終調整、契約書への落としこみ、契約締結